

# 令和2年度 学校評価アンケート・児童アンケートのまとめ

亀岡市立大井小学校

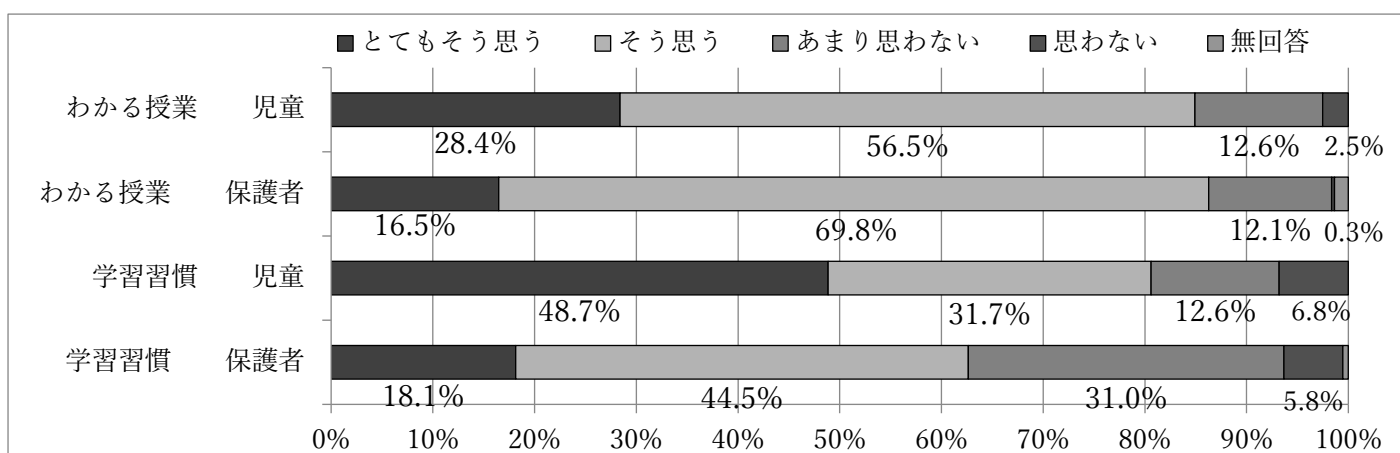
過日、実施いたしました「学校評価保護者アンケート」では、お忙しい中、約91%の保護者の皆様よりご意見をいただきました。本当にありがとうございました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、様々な学校行事が縮小もしくは中止せざるを得ないことになり、保護者の皆様には大変ご心配をおかけした1年となりました。そんな中でのアンケートのため、答えにくい項目もいくつかあったと思いますが、ご協力をいただき感謝しております

学校評価アンケートの結果を分析することを通して、来年度に向けた課題点を明らかにし、大井小学校の教育を一層充実させていきたいと、教職員一同気持ちを新たにしております。

以下の通り、分析結果をまとめました。

わかる授業	児童	学校の勉強は、わかりやすい。
	保護者	学校は、学習内容が理解できるように授業の工夫をしている。
学習習慣	児童	わたしは、宿題をわすれずにやっている。
	保護者	お子さんは、進んで家庭学習を行うことができています。



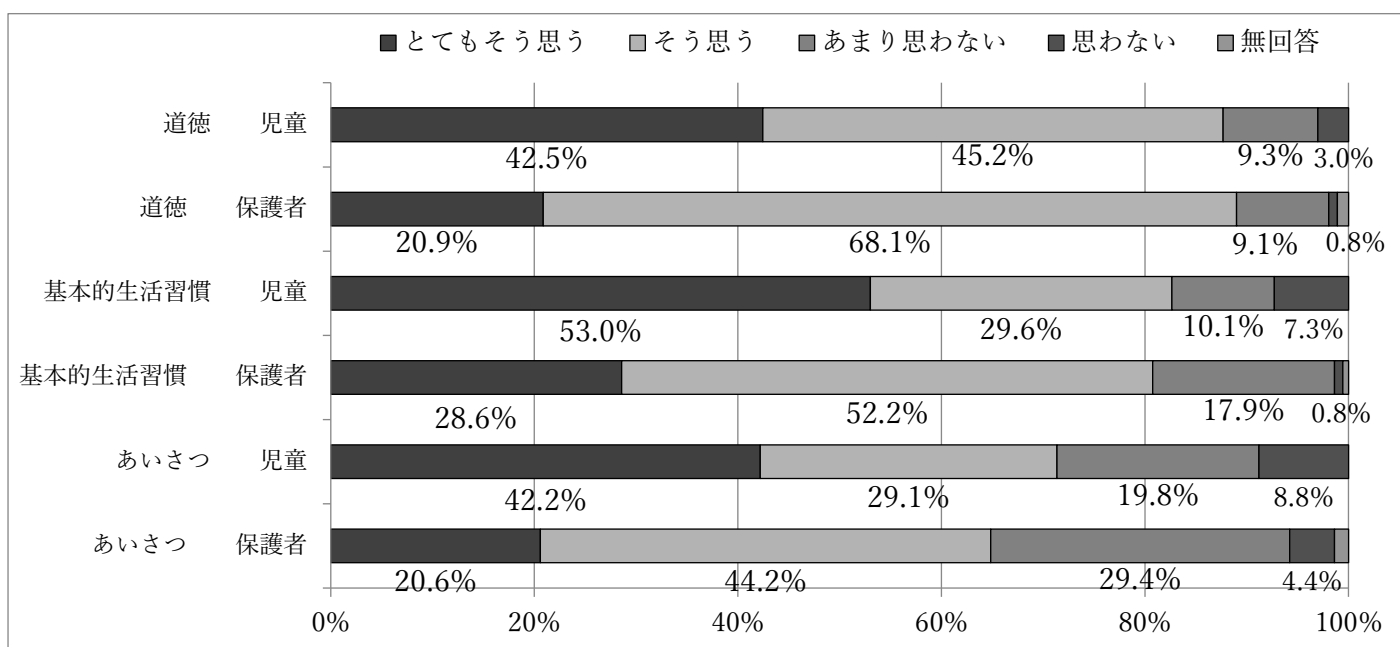
学習に関する項目「わかる授業」では児童、保護者ともに、多くの肯定的な意見をいただきました。

本校では、「生き生きと表現し、主体的に学習する子どもを育成する」を主題として授業研究を進めてきました。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、グループで討議をしたり学習発表をしたりする機会を持つことができませんでしたが、付箋を使って意見の交換をするなどの工夫をしてきました。また、映像を利用した学習も行い、少しでも理解が進むように努めてきました。これまでとは違った学習形態であったものの、「わかる授業」について児童のアンケートでは、昨年よりも肯定的な意見が5.2%増加の結果を得ることができました。しかし、約15%もの児童は学習へのつまずきを感じていることも結果から見受けられました。基礎的な学習を繰り返し行ったり具体物を用いたりして、「わかる」「楽しい」「できた」と思える授業作りを今後も進めていきたいと思っております。

「学習習慣」の項目では、保護者アンケートにおいて、昨年度よりも肯定的な意見が7.1%増加しまし

た。しかし、約40%の保護者からは「進んで宿題をしていない」との回答をいただいております。この結果から、肯定的な意見が増えたものの、まだまだ家庭学習が定着してないと捉えています。今年度も、「家庭学習の手引き」を配布したり、長期休み後の生活点検表で学習時間を確認したりしてきましたが、これらとともに、宿題は学習の定着を図るための大切な時間であることを伝えたり、遊びの時間、テレビの視聴、スマホやゲーム等の使用の仕方を見直すことなどを進めたりしていきたいと思っております。ぜひ、ご家庭でもお話いただき、引き続きご協力をお願いしたいと思います。

道徳	児童	わたしは、学校で学んだ思いやりの心をもって行動したり、社会のマナーやルールを守ろうとしたりしている。
	保護者	学校は、思いやりの心、社会のマナーやルールを守る態度を育てている。
基本的生活習慣	児童	わたしは、早寝・早起きをして、朝ごはんを食べて登校している。
	保護者	お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身についている。
あいさつ	児童	わたしは、進んであいさつをしている。
	保護者	お子さんは、進んであいさつをしている。

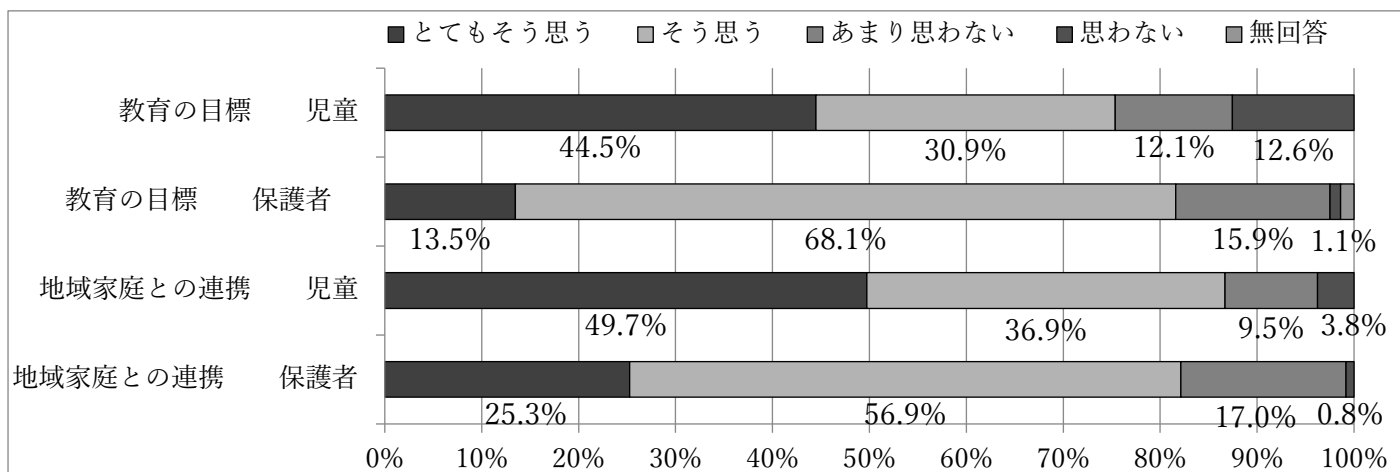


「道徳」の項目について、児童と保護者ともに高い評価をいただきました。特に児童は昨年度と比べて、肯定的な意見が5.4%増加し、ほとんどの児童がルールやマナーを守って生活をしていると結果から言えます。

「基本的生活習慣」に関しては児童、保護者ともに昨年度より良い評価をいただきました。学期に1回生活点検を行い、自身が規則正しい生活を送れているかを確認させたり、保健だより等で生活に関するお知らせをしたりしてきました。寝る時刻や起きる時刻の意識化を図り、基本的な生活習慣を身に付けていけるよう、ご家庭の協力を得ながら、学校でも指導していきたいと思っております。

「あいさつ」の項目は、児童、保護者ともに昨年度より評価が下がっています。毎朝の児童の様子を見ていると、特に月曜日は下を向きがちであいさつにも元気が見られません。休み明けはどうしても生活リズムが崩れがちになるようです。しかし、コロナ禍の中、大きな声が出せないため、お辞儀をして通る児童も多く見られています。こういった行動は大変気持ちの良いものであり、この姿が地域にも広がっていくようにしていきたいものです。

教育の目標	児童	わたしは、学級(学年)の目標を知っている。
	保護者	学校の教育方針は、わかりやすい。
地域家庭との連携	児童	先生は、学校の様子を学校便りや学年・学級通信などで、家の人にわかりやすくつたえてくれている。
	保護者	学校は、学校や子ども達の様子等の情報を家庭に知らせるよう努めている。



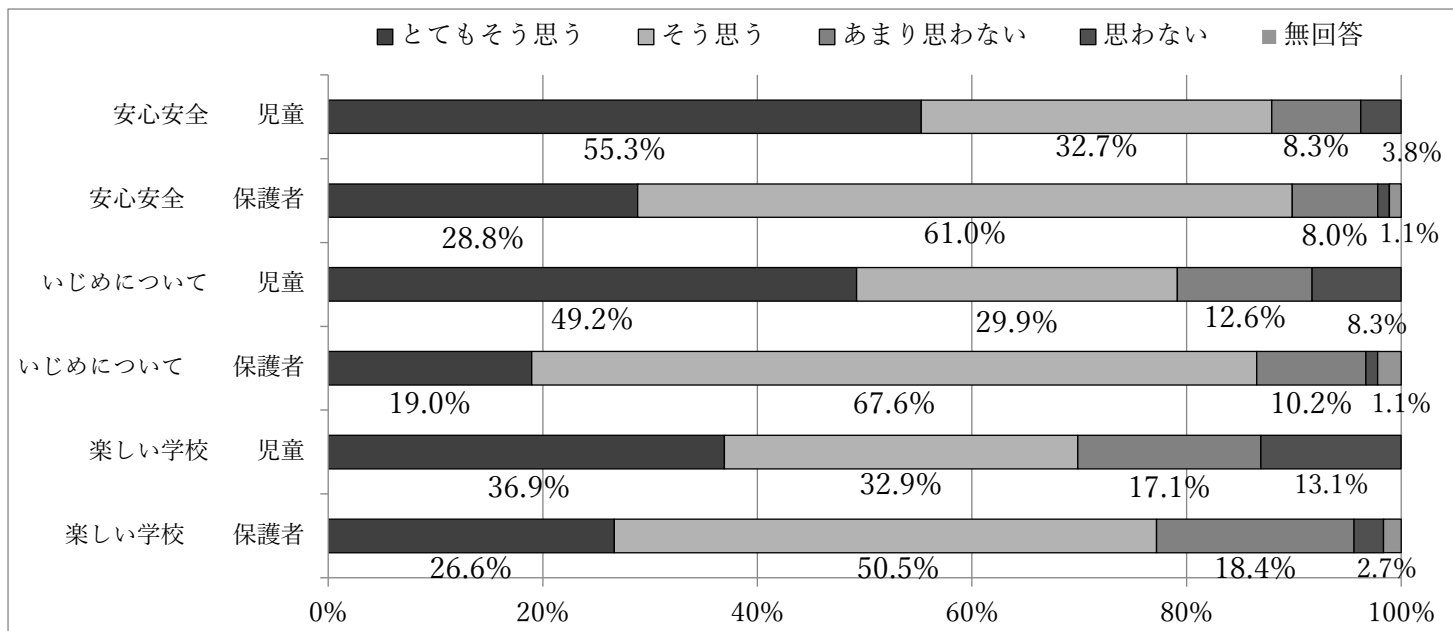
「教育の目標」など目指すところを明確にすることで教育効果が高まります。児童に対しては、常に学級目標や学年目標に立ち返りながら、取組を進め児童の成長を見つめていきたいです。そして、地域家庭と学校もともに目指すところを共有し協働していけるよう、今後も方針を明確化させていきたいと思ひます。

「地域家庭との連携」では、昨年度と同様、保護者から80%を超える肯定的なご意見をいただきました。しかし、コロナ禍により、学校での児童の様子を見ていただく機会がほとんどなかったため、

「子どもの学校での様子をもう少し知らせてほしい」などのご意見も聞かせていただいています。家庭訪問や懇談が思うようにできない中ですので、通信や時には電話連絡等になりますが、今後もできる限り児童の様子をお伝えしていけるよう心がけていきたいと思ひます。



安心安全	児童	わたしは、避難訓練や交通教室に真剣に取り組んでいる。
	保護者	学校は、子どもの安全を考えた指導や訓練を行っている。
いじめ	児童	わたしは、いじめなどを心配せず、学校で安心して生活している。
	保護者	学校はいじめのない学級づくりに取り組んでいる。
楽しい学校	児童	わたしは、学校に来るのがたのしい。
	保護者	お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている。



「安心安全」の項目は大変多くの肯定的なご意見をいただきました。しかし、昨年度と比べると保護者の肯定的な意見が3.1%減っており、中には、「下校の様子が心配」との声も挙がっています。本校では、交通教室を毎年行い交通安全の確認を行ったり、下校時にも安全に関しての声かけ等を行ったりしていますが、これらの学びが、行動につながるようにしていきたいと思います。また、登下校時には民生委員さんや地域の方のご協力をいただき、安全を見守っていただいておりますこと大変感謝しております。

「いじめについて」は、20%を超える児童が不安を抱えていることが結果から見えてきました。また、「楽しい学校」の項目についても児童・保護者共に「楽しくない」という回答が多く見られました。今年度はコロナ禍の中、児童がわくわくする取組や行事が減ったこともあるとは思いますが、児童がチャレンジしたくなるような新たな取組や活動、そして、行事の変更やこれまでの取組に工夫を加えるなど、新しい生活様式の一つとして考えていく必要を感じています。また、今後も、授業の工夫をしたり、クラス遊びや学級活動の時間における仲間作り、特別な教科「道徳」の時間で仲間とのつながりや相手を思いやる気持ちを育てたりするなど、さまざまな学習や活動を通して、楽しい学校作りをすすめていきたいと思っています。同時に、全教員で目を配り、耳を傾け、学校が児童にとって安心な場であるよう努めていきます。

アンケートの記述欄には貴重なご意見を多数寄せていただきました。感謝申し上げます。

今回のアンケートの考察を通して、今後も子どもたちの現状をしっかりと見据えながら、より一層我々教師が協働して子ども達の教育にあたっていかなければと考えております。

記述欄には、コロナウイルス感染症の拡大防止対策に関して、学校への激励の言葉を多数いただき、保護者の皆様に支えられていることを強く感じました。ありがとうございました。また、学校として今後検討が必要な内容や、地域・家庭のご協力がなければ改善に至らないご意見もありました。特に現代は、社会の変化が激しく、価値観が多様化しています。だからこそ、学校と保護者、地域がしっかりと手を携え、安心して包み込まれているという感覚を実感できる環境で児童を育てていきたいと考えています。

保護者の皆様方からいただいたご意見をもとにして、改善できるところから取り組んでいくとともに、来年度の学校運営をさらに充実したものにしていきたいと考えております。

ご協力ありがとうございました。